

令和6年度 半田市社会福祉協議会 会員加入にご協力をお願いします

「**ふ**だんの・**く**らしの・**し**あわせ」の頭文字をつなげると「ふ・く・し」となります。

「ふ・く・し」とは、特定の誰かではなく、みんなが安心して暮らすことができるための取り組みやしぐみのことです。

半田市社会福祉協議会は、「ふ・く・し」の実現のために、地域のみなさまや、NPO、企業、行政などさまざまな立場の人たちと一緒に考え取り組んでいます。「ふ・く・し」の実現のためには、地域のみなさまの「ちょっとしたささえあい」が不可欠です。

「困ったときはお互いさま」の気持ちで、安心して笑顔で暮らせる半田市にするため、みなさまのご理解とご協力をお願いします。



会員の種類

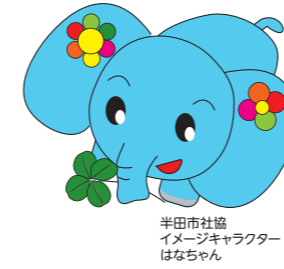
- 一般会員(個人世帯) 500円

- 特別会員(より一層、社会福祉協議会の趣旨にご賛同ご協力いただける方は特別会員の加入をお願いします。) —□ 1,000円

- 法人会員(法人、福祉事業所等) —□ 5,000円

問合せ 社会福祉法人 半田市社会福祉協議会

〒475-0918 半田市雁宿町1-22-1 瀧上工業雁宿ホール(半田市福祉文化会館)
TEL 0569-84-2324
E-Mail handa-syakyo@giga.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.handa-shakyo.com/> →QR



はなちゃん通信 251号

半田市社会福祉協議会だより

令和6年能登半島地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。
被災地域のみなさまの安心と安全、日常生活が1日でも早く戻ることを心よりお祈り申し上げます。



半田市社会福祉協議会では、みなさまからいただいた会費をもとに、暮らしの中にある「困ったな」や「何かできないかな」をみなさまとともに考え、すべての方が安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。

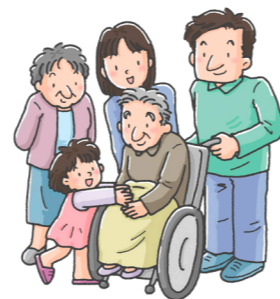
今回は、そのうちの一つである「防災・減災」に関する取り組みを紹介します。

社会福祉法人 半田市社会福祉協議会

半田市雁宿町1-22-1 瀧上工業雁宿ホール(半田市福祉文化会館) TEL.0569-84-2324

この広報紙は共同募金の配分金により作成しています。 2024.4

災害時に被害を最小限に抑えるために、平常時から地域のみなさまと「災害に強いまちづくり」についてともに学び・考え、関係機関と連携する「減災地域ささえあいセンター」を設置しています。日頃の備えとして、地域のみなさまとともに進める「防災・減災」に関する取り組みをご紹介します。



Project 1 「命を守る」減災教育の実施

「命を守ること」また、その先の暮らしを考え、今、備えておくべきことを、地域の拠点やイベント、学校等でお伝えしています。



乙川中学校での減災教育の様子

Project 2 地域防災活動への参加・協力

復興に向けた動きの中で、地域での助けあいがとても大切になります。そのため、日頃から地域の防災訓練への参加呼びかけや、参加しやすい企画づくりにも協力します。



向山区防災訓練での防災クイズの様子

Project 3 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練

災害時、「減災地域ささえあいセンター」は、「災害ボランティアセンター」に移行します。災害時を想定し、災害ボランティアセンターの立ち上げや運営がスムーズに行えるよう、協定を締結している機関やボランティア団体等と一緒に訓練を実施しています。また、訓練の中で必要な資材や物品を見直し・補充を行っています。



災害ボランティアセンター設置・運営訓練の様子

今回の能登半島地震で、実際に取り組みが活かされました！

Project 4 関係機関との連携と被災者支援

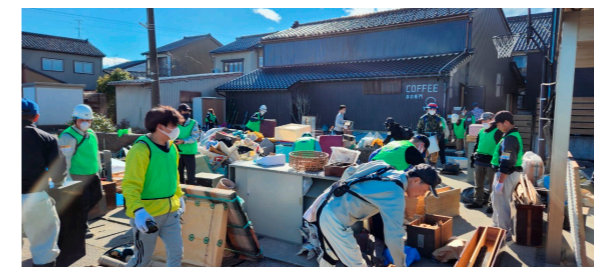


半田市と、氷見市(富山県)、茅野市(長野県)、伊賀市(三重県)の4市の社会福祉協議会は、大規模災害に備えて「相互支援協定」を締結しています。

この協定により「いざ」という時にささえあえる関係を平常時から構築し、災害時には「困った時はおたがいさま」として支援を行います。

ボランティアバスによる支援活動

半田市より30名のボランティアのみなさまと一緒に、氷見市で被災者支援活動を行いました。被災された方に寄り添いながら活動することで、災害に強いまち半田を考えるきっかけになりました。



家屋の家財を運び出す様子

被災者を応援する気持ちを針に込めて 雑巾♡ちくちくプロジェクト

令和元年の台風19号による長野県の水害時から、直接支援ができなくても、気持ちを届けることのできる「雑巾♡ちくちくプロジェクト」を実施しています。

今回の氷見市の活動の中で、これまで半田市のみなさまに縫っていただいた雑巾が大活躍しています。



足ふきマットとして活用している様子



資機材の汚れをふき取っている様子

職員を派遣

富山県氷見市へ、1/13より延べ22人の職員を派遣し、氷見市の住民の生活再建に向けた取り組みを応援してきました。



災害ボランティアセンターでスタッフとして活動している様子

活動支援金の募集

氷見市住民の生活再建を支える「氷見市災害ボランティア・支えあいセンター」の活動費や、復興に向けて今必要なものが迅速に購入するための資金を半田市でも募集し、多くのみなさまにご協力いただきました。

45件 1,010,679円

令和6年2月27日現在

このような活動も、みなさまからお寄せいただく会費があるからこそできる取り組みです。